

平成 2 6 年

亀山市教育委員会 8 月定例会会議録

## 亀山市教育委員会 8月定例会会議録

### 1. 日 時

平成26年8月21日（木）13時30分開会

### 2. 場 所

亀山市役所職員会館2階 会議室

### 3. 出席委員

1番委員	岡 田 香
2番委員	肥 田 岩 男
3番委員	井 上 恭 司
4番委員	伊 藤 ふじ子
5番委員	大 萱 宗 靖

### 4. 欠席委員

なし

### 5. 議事参与者

教育次長	佐久間 利 夫
教育総務室長（以下総務室長という。）	原 田 和 伸
学校教育室長（以下学校室長という。）	服 部 裕
教育研究室長（以下研究室長という。）	西 秀 人
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	亀 山 隆
図書館長	久 野 友 彦
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	小 林 秀 樹
まちなみ文化財室長（以下まち室長という。）	嶋 村 明 彦
教育総務室主幹（書記）	木 崎 保 光
教育総務室主査（書記）	水 野 英 樹

## 6. 会議録署名者指名

5番委員（大 萱 宗 靖 委員）

## 7. 前回会議録の承認（7月定例会）

承認

## 8. 教育長報告

教育長

教育長報告の主なものを「平成26年8月定例会教育長報告」に基づき報告。

8月4日、教職員研修会（接遇研修会）を教育研究室主催で実施した。様々な研修会の一つで、今年度初めて「接遇」をテーマに実施した。一般社会人として必要なマナー等について、新しく先生になられた方々を対象にしたが、「今までなかったことで、非常に良かった」と好評であった。今後も続けていきたいと考えている。

同日、夏季学校給食研修会があり、新しい献立の開発等をしていただいた。

5日の放課後子どもプラン運営委員会は、新しいメンバーでの第1回目の会合であった。

9、10日は台風11号の接近により、三重県に大雨特別警報が出された。9日午後から10日終日、災害対策本部が設置され、関小学校・亀山中学校以外のすべての学校が避難所開設となった。結果、7校に避難者がみえた。避難された方は、地元の方よりも亀山市周辺を通過していた方で、道路の通行止めによって行き場を無くした方が多かった。今まで経験したことのないことであった。

16日、NHKのラジオ体操公開放送があり、約1,500名の参加があった。これを機会に、取り組みが広がっていけば良いと思っている。

19日、市民会議サマーキャンプ開会式に出席した。この3泊4日の体験を通じて、子どもたちがどのように変わっていくのか非常に楽しみであり、閉会式で是非その様子を見てみたいと思っている。

20日、地域コミュニティ研究会があり、教育次長と出席して、まちづくり協議会を進めていくための研究を行った。

岡田委員 特別警報が出され、7校に避難された市外の方に混乱はなかったのか。

教育長 後日、関中学校の校長と話をしたが、「大変お世話になった」ということで花壇の手入れをしていただいた方が見えた。また、他の学校では要望があったと聞いている。あいあいでお風呂に入ってもらえるということで、学校からあいあいへ案内したこともあり、学校の避難者は徐々に減っていった。

委員長 教職員研修会（接遇研修会）をしてもらったことは、結構なことである。今後も継続して実施してもらいたい。

（ほかに質問はなく、教育長報告を終わる。）

## 9. 議事

委員長 議案第38号「人事案件について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 （提案理由説明）

委員長 議案第38号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書に基づき、非公開に当たるので各委員に諮る。非公開としてよいか。

（全委員異議なし）

議案第38号「人事案件について」は非公開とする。関係職員以外は退室を願う。

（関係職員以外退室）

《非公開》

（議案第38号は可決される。）

（退室した職員入室）

委員長 議案第39号「平成25年度教育委員会活動の点検・評価報告書について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 （提案理由説明）

（総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長詳細説明）

大萱委員 この事務事業評価シートは、議会へ提出するのか。

総務室長 事務事業評価シートは、9月議会開会日に行政評価の附属資料

として提出されます。教育委員会の提出資料としては、この点検・評価報告書を提出します。

大萱委員 30頁の「図書館改修事業」について、目的・概要では「入館者数は年々増加しており～」となっているが、反省点・課題では「図書館利用者が減少傾向となっているため～」となっている。矛盾しているのではないか。

図書館長 前年度は改修事業によって休館日が増えたため、利用者は減少しました。なお、この事務事業評価シートは既に市内部で作成が完了しているものであるため、内容を変更することはできません。

教育次長 補足します。目的・概要は事業開始の前年度に記載していますが、反省点・課題は今年度記載していることから、記載時期にズレがあるため内容が矛盾しているように見えます。

総務室長 点検・評価の方法ですが、担当室が判定した結果に対し、教育委員会として異なった評価をすることは可能です。ただし、このシートの内容を変更することはできません。よって、シートに記載されていることに対し、改善すべきこと等をご意見としていただければ報告書に反映させていただきます。

今回の点検・評価報告書は、議会からの指摘もあり、これまでの方法を見直したものです。

大萱委員 「外国語指導助手配置事業」の事業費は、ほぼ人件費だと思われるが、この方たちは、例えば夏休みは何をしているのか。事務事業評価シートの改善の方向性で「日本人教師との情報交換を円滑に進める」となっているが、関わりが薄いのではないか。

学校室長 8月に来たALTは、現在、主に教育委員会事務局で2学期以降の教材研究をしています。本日は、中学校の英語教師との研修会へ参加しています。また、日本人の英語教師と2学期以降の計画作りをしたり、日本人の英語教師自身がネイティブスピーカーに触れる機会として活用しています。改善の方向性に記載した「情報交換を円滑に進める」の意味は、日々の教育活動の中で日本人教師は、英語の授業以外の時間も生徒指導などがあることから、絶対的な時間不足になっている状況にあります。また、ALTのうち2名はJETからの派遣で直接雇用の形態となり、うち3名は民間業者からの派遣となっています。人材派遣の場合、学校長や英語教諭が直接指導できません。教育委員会を通じて、派遣業

者に伝えなければなりません。この2つの任用のシステムは、一長一短があります。直接雇用の場合は、アパートの手配から家具の用意まで全て市が行いますが、直接指示ができます。派遣の場合は、子どもに影響する学習活動・授業には支障が出ないよう業者委託の仕様書に必要事項を盛り込んでいますが、風邪を引いて休む場合も教育委員会を通じなければならないのが実態です。これらの連絡がスムーズに進むよう、コミュニケーションを図りつつ改善をしています。

大萱委員 人材派遣の場合、体調不良等で休むのであれば、代替の人員はすぐに手配できるのか。

学校室長 民間業者への委託の場合、すぐに代替の人員確保をしてもらえます。

大萱委員 ALTは、プライベートの時間に地域のイベント等へ積極的に参加しているのか。

学校室長 直接雇用の場合だけではなく、業者委託の場合でも仕様書にできる限り亀山のイベントに参加し、市民と関わり合うことを明記しています。学識経験者の意見にも「市民レベルでの活動に期待する」と記載されていますが、公民館講座の先生になったり、公民館講座を卒業された方の市民サークルの講師にボランティアで行ったりという実績はあります。祭りにも、もちろん行っています。ただ、そこばかりに力を入れ過ぎ、本来の学校での活動に支障が出てはいけないと考えています。

井上委員 「図書館改修事業」について、一点聞きたい。目的・概要欄に「多様化するニーズに対応できるよう～」とある。IT環境のことだと思うが、必ずしも実現していないのではないか。また、「企画展示室等を改修する」とあるが、企画展示室は現在無いのではないか。企画展をする場所すら確保されていない。IT環境は貧弱。それにも関わらず、総合判定がAとなっている。25年度だけのことなのかもしれないが、本来目指したところが実現されていないのではないか。24年度の総合判定がCならば、意味は分かるが。

図書館長 図書館を24年度から25年度にかけて改修した目的は、IT環境を重視したものではありません。また、企画展示室を無くしてでも学習室を大きくして、子どもが自習できる部屋を大きくし

たいという設計目的を持って、24年度に設計委託、25年度に改修をしたものです。目的の主旨からしますと、総合判定はAとなります。

井上委員 目的・概要から外れた設計委託をしたのではないか。「企画展示室等を改修する」、「多様化したニーズに対応」となっており、IT環境ならば、それを盛り込まなかった24年度の設計が誤っていると評価しなければならない。

図書館長 市立図書館の方針で、一般開架のスペースを広げること、また多様化するニーズとは、ITに特化しているわけではなく、一般の方のニーズを指しており、ITに限っているわけではありません。

井上委員 多様化するニーズとは何か。具体的に説明してもらいたい。

図書館長 本を借りに来る方のニーズです。

井上委員 それを多様化するニーズと言うのか。借りに来る方のニーズであれば、「借りやすくなる、利便性が高まる」ということではないのか。

図書館長 企画展示室の改修は、「企画展示室を無くして、学習室を拡充する」と表現すべきであったと考えます。

井上委員 表現の仕方は、そちらの方が適切である。25年度の事業進捗がAになるのも分かる。ただし、事業の計画を立てる段階で、そのあたりが明確になっていない。これは教育委員会の責任でもある。

図書館長 主要事業個別シートの目的・概要には、「配架場所にも限度があり～学習室を移設し～現在の学習室を一般室に改修し」と記載してあります。

井上委員 それは二つ目の段落である。目的・概要のトップには、「多様化するニーズに対応」、「企画展示室等を改修」とある。先に記載してあることを尊重すべきではないか。25年度の進捗がAになっていることに対し、けちをつけるわけではない。そもそも、計画が甘かったのではないかということである。

図書館長 内容に誤りがあったのではなく、表現方法が適切ではなかったと思います。言葉足らずな部分があったとは考えます。

井上委員 24年度は委託だけである。委託の中身がおかしかったのではないか。

- 図書館長  
井上委員 図書館の方針としては、開架スペースと学習室の拡充です。  
それであれば、やらないことを書いたこと自体が誤りではないか。誤りでないのならば、「企画展示室を学習室に改修する」と書けばよかったのではないか。終わったことなので、これ以上は言わないが。
- 岡田委員 「地場農畜産物利用推進事業」の改善の方向性で、「市内の流通業者や生産者との連携を密にしていく」とあるが、市内での協力・連携体制はどうなっているのか。
- 学校室長 市内の流通業者とは、食材を納入する八百屋さんや肉屋さんなどが位置づけられます。生産者は、亀山市内で食材を生産してみえる方が位置付けられます。そこに、教育委員会と農政室が入って、むしろ農政室がイニシアティブを取って、連携を図っています。毎年最低2，3回は会議を設けています。会議では、それぞれの立場から活発な議論がなされています。
- 岡田委員 「学校支援地域推進事業」であるが、一般市民はどのような協力が必要なのか分からないのではないか。亀山市内には大学がないため、一般市民の協力が不可欠である。「コミュニティスクール推進事業」も同様であるが、何が重要なのかを一般市民に対し、もっと情報発信することが重要ではないか。
- 研究室長 今後、情報発信を充実させられるよう検討していきたいと考えています。
- 井上委員 教育委員会による点検・評価報告書として、4点ほど考えた。  
「1. 積極的な事業展開が教育委員会事務局や現場の過重労働に繋がらないよう、精選の視点を大切にしていきたい」、「2. 現場との連絡を密にし、さらなる信頼関係の強化に努めたい」、「3. 厳しい財政事情にあると思うが、必要な教育予算を最大限確保していきたい」、「4. 教育資源、地域資源の内容を吟味する中で、それらを明確化し、具体的実践に繋げていきたい」と盛り込んではどうか。
- 教育次長 今年初めて学識経験者の知見を取り入れたので、分かりやすくするために個々のシートで説明をし、意見をいただきました。この手法については、反省点もあります。来年度は、もっと大きな視点から評価をお願いするべきではないかと考えているところです。



委員長           この点検・評価報告書を議会へ提出するのであれば、議論している時間はあまりないのではないか。

教育長           委員の皆さんからご意見をいただいたことを踏まえて、事務局の方で案をまとめます。その後、委員長に確認いただくということで如何でしょうか。

委員長           その方法で、委員の皆さん了解をいただけますか。  
(全委員異議なし)

## 10. 報告事項

委員長           報告事項1「亀山市立川崎小学校校舎改築工事設計者選定委員会要綱の廃止について」説明を求める。

(総務室長説明)

(意見はなく、報告を終わる。)

委員長           報告事項2「学校部活動による物損事故について」説明を求める。

(総務室長説明)

井上委員       8mのフェンスだから越えた、10mあったならば越えなかったかもしれない。フェンスの改修をすべきなのか、指導方法を見直すのか、どちらで考えているのか。関中学校でも、野球のライト側でボールがフェンスを越えて民家の屋根に直撃し、苦情があり高さを変えたことがあったと思う。対策はどう考えているのか。

総務室長       事故が発生して以降、ピッチングマシーンを使う際は、角度を変えファールがフェンス方向に飛ばないように工夫しています。ただし、他のクラブ活動との兼ね合いもあり、大きく場所を変えることは難しい状況です。フェンスを高くすることも考えられますが、景観上もあまりフェンスを高くすることはできないのではないかと考えています。現在、フェンスを高くするためには、どれくらいの費用が掛かるのか見積を取っているところであります。

大萱委員       フェンスを越えることは頻繁に起こっているのか。

総務室長       回数までは確認していませんが、時々はあるようです。

大萱委員       バッティング練習をする際は、バッティングゲージを使えばよいのではないか。

総務室長 練習時にはバッティングゲージを使用しています。

委員長 4月24日に事故が起きて、7月16日に示談が成立とのことであるが、時間が掛かりすぎではないか。

総務室長 車の修理の段取りに時間が掛かったようです。  
(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項3「第1回亀山市学校給食検討委員会議事録について」説明を求める。  
(学校室長説明)

井上委員 10頁に「子どもの視点」という発言が出てから、「子どもの視点」や「子どもの意思」という言葉が話題に上ったようだが、何を想定・期待して発言されたのか。分かっているならば教えてもらいたい。

19頁の北崎委員の発言は、学校以外のイベント等で喫食する機会も気をつけようということで、保護者や地域の方には言いにくいとは思いますが、アレルギーの事故が起きる恐れはあると思う。

学校室長 「子どもの視点」は、10頁の副委員長の発言から始まりました。副委員長自身が調理師専門学校や幼稚園、学童保育所を運営しており、保育現場に頻繁に顔を出してみえます。実際に亀山の子どもや親ではありませんが、学校や保育に関わる場合の信念のようなものが感じられました。従業員や保護者のためではなく、子どもの健全育成のために、「子どもの視点」を大切にしていこうという意味でおっしゃっていると解釈しています。12頁で委員長から論点が子どもの視点になっており、「現状を調査してみましようか」と委員に尋ねられています。アンケートを取る必要があるのかは、まだそこまで議論が煮詰まっていないということになりました。野呂委員は、自分が経験してきた中で、子どもが嫌いなものを捨てるのを見てきています。子どもの視点だけで良いのかと発言されています。結果的に、アンケートは保留状態になっています。本当に必要であれば、2回目、3回目で検討がされます。19頁の北崎委員の発言ですが、学校だけでアレルギー対応は済まない現状は確かにあります。第2回目で改めて課題を整理して、改善策を検討します。第3回目には中間意見書を出していただきます。この意見書に基づき、関係機関にも発信しますので、学校だけではできない対応はお願いすることとなります。

昨日も次長から健康推進室へ連絡してもらっています。健康推進室からは、アレルギー対応について「十分にできていない」との見解もいただいています。コミュニティ行事や自治会行事、文化的スポーツ行事など、どこの部署が担当するのか第2回目以降、対応策を検討しなければならないと考えています。

大萱委員  
学校室長

現在、給食は食べなくなったら残すのか。

残飯率については、「残飯ゼロ運動」に各校で取り組んでいます。よって、残飯はゼロとは言えませんが、ほとんどない状態です。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長

報告事項4「学力向上について」説明を求める。

(研究室長説明)

井上委員

目標値との比較に記載されている「標準的な時間をかけて学んだ場合」であるが、実際の学校現場で授業実数の確保はできているのか実態を知りたい。先日のように広島で山崩れがあれば防災教育、他には情報教育や環境教育、英語教育、多文化共生教育、食の教育など時間割の中に位置付けられていない授業をどこかに入れなければならない。また、中学校1年から3年にかけて正答率が悪くなっている。学年が進むと悪くなるのは固定的なものか、今年度だけのものか教えてもらいたい。「弱み」を克服するための具体的な取組について」の項で、「学力の二極化が～最小限に食い止めている状況がある」と記載されているが、よく書いてくれた。このような記述は、学校を元気にする。学校は誇りと自信を持って取り組んでいかなければならない。大変良い記述である。家庭教育での手立ての確実な実行は難しいと思う。最近、授業参観後の学級懇談会でさえ保護者は残らない。「全国学力・学習状況調査」やレディネステストなど、いろいろなテストの精選に取り組むことは、是非やっていただきたい。現場も喜ぶと思う。総合的な学習の時間であるが、生きる力を育む切り札であると思う。風前の灯にしないで欲しい。

研究室長

授業時間数の確保は、各校工夫しながら時間を確保しています。中学校の数値は、今年限りのデータです。現在、生徒指導を含め現場では努力しているところです。弱みの克服に掲げた8点の取組みについては、教育研究室内部で意見を出し合って決めたも

のです。今後しっかり取り組んでいきたいと考えています。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項5「図書館の利用状況について」説明を求める。

(図書館長説明)

委員長 数値が増えた要因をどのように捉えているのか。

図書館長 開架スペースが広がったことと、館内に土足で上がれるようになったことが影響していると考えています。ただし、1年間の数値を見ていないので、現時点では評価できないと考えています。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項6「工事及び委託事業の発注状況について」説明を求める。

(総務室長、研究室長、歴博館長説明)

(意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項7「教育委員会行事報告及び予定表について」説明を求める。

(総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長、まち室長、歴博館長から説明)

(意見はなく、報告を終わる。)

## 11. その他

委員長 9月の定例会は30日(火)9時30分とする。

## 12. 閉会

17時00分